

当センターの職業訓練を修了後、株式会社佐藤製作所様に就職され、溶接を担当されている有田 武司様（溶接技術科 平成 29 年 12 月修了）と、黒光 ゆかり様（溶接技術科 平成 30 年 6 月修了）のお二人に現在のお仕事等について、お話を伺いました。

さらに、お二人の上司の製造部 製造課 課長 有安 伸之様に採用やお二人の仕事ぶりについて、お話を伺いました。

最後に、代表取締役 佐藤 茂典 様からメッセージをいただきました。



（左から、有田様、有安様、黒光様）

* * * * *

溶接に興味があったが、知識がないので、勉強してから就職活動をしたかった。

迷っているなら、受講した方がいい。

修了生の有田様に、現在のお仕事や就職の経緯などについてお話を伺いました。

◇現在のお仕事は？

- 一 溶接（正社員）です。弊社には、溶接士の仕事と製缶工の仕事（※）がありますが、私は主に溶接士の仕事を担当しています。時間があるときは、製缶工の仕事をさせてもらっています。

◇前職は？

- 一 介護職（正社員）です。

◇就職されて、いかがですか？

- 一 入社して11ヶ月になります。夜勤もなく、給与も上がり、目標を持って仕事ができます。転職してよかったです。



※製缶工について、有安課長に伺いました。

製缶工の仕事は、設計図面を見て、必要な資材と効率よく、品質の高い製品を製造できるよう工程や段取りを考え、鋼材の切断から溶接・組立をする仕事です。設計図面からそれらがわかるセンスと、工程や段取りの工夫が必要です。工夫できる人は工数が少なく、高い品質の製作ができます。知識より知恵が必要なので、教育するのが難しいです。ひとりでできるようにするには、4～5年かかります。最近では、製缶工の仕事ができる人が減っており、求人を出しても応募者がいません。弊社では、別の業界で同じような仕事をしていた方を採用し、入社後、製缶の知識・技術を習得して、製缶工の仕事を担当してもらいます。

◇職業訓練を受講しようと思われたのは？

- － 溶接に興味がありましたが、知識がなかったので、勉強してから就職活動をしたいと思ったからです。

◇受講の目標は？

- － ポリテクセンターのパンフレットに記載されていた「訓練修了時に取得できる資格・任意に取得できる資格」をすべて取得することでした。

◇受講前、ポリテクセンターの印象は？

- － 全くわからなかったのですが、見学説明会に参加して、どんなところで何を学ぶのかなどを理解することができました。

◇受講していかがでしたか？

- － 年齢的にいろいろな世代の方が受講していましたが、自分と同年代の人も結構いて、過ごしやすかったです。
いろいろな溶接の資格が取得できてよかったし、機械や道具の名称等を覚えられました。

◇職業訓練で習得したスキルで、今のお仕事で役立っていることは？

- － 溶接の資格が取得でき、溶接がこういうものであると理解できていたことです。機械や道具の名称や使い方等が理解できていたことも、今の仕事に役立っています。

◇就職活動や当センターの就職支援は、いかがでしたか？

- － 対応がよく、親切でした。

◇就職決定の決め手は？

- － 他社にはないレントゲンがあったり、特殊な検査機器があり、やりがいを感じました。

◇今後の目標は？

- － 普通ボイラー溶接士・特別ボイラー溶接士の資格を取得することです。

◇就職活動中の方や職業訓練を受講されている方にメッセージをお願いします。

- － ポリテクセンターでの受講を迷っているなら、受講した方がいいと思います。

* * * * *

前職の事務と違い、溶接は仕事が形になり、目に見えるので、やりがいがある。

どうしようかと迷っているなら、やってみるべき。

修了生の黒光様に現在のお仕事や就職の経緯などについてお話を伺いました。

◇現在のお仕事は？

- － 溶接（正社員）です。TIG 溶接を担当しています。待ち時間ができたら、周りの社員に何かすることはないとたずねて、他の仕事もしています。担当以外の仕事をする事で、それぞれの業務が繋がり、全体の業務が理解できます。



◇前職は？

- － 自動車販売会社で一般事務（正社員）をしていました。受付や経理業務など事務全般を担当していました。

◇就職されて、いかがですか？

- － 入社して5ヶ月になりますが、あっという間でした。もう5ヶ月になるのかという感じです。家事と育児もあるので、毎日が目まぐるしく過ぎていきます。この5ヶ月間は楽しかったです。溶接は好きです。難しいけれど、難しいことを克服すると、また楽しくなります。前職の事務と違い、自分のした仕事が形になり、目に見えるので、やりがいがあります。

◇職業訓練を受講しようと思われたのは？

- － 女性が溶接の職業訓練を受講しているニュースをたまたま見ました。託児サービス

(※)もあり、子供を預けて学べ、就職にもつながる、これはいいなと思いました。それから、父の影響もあると思います。父は土木の仕事をしています。現場で働く父の姿を見て、カッコいいと思っていました。私は土木も溶接も3Kだとは思いません。仕事をして汚れるのもカッコいいし、安全のルールを守れば危険ではありません。

私は、あまり人がしていないことをしたいと思っています。溶接をする女性は少ないので、私にとっては魅力がありました。

※「託児サービス」とは、当センターが委託する託児施設に訓練受講中お子さん（生後40日前後から就学前の児童）を預けられるサービスです。託児施設にお子さんを預けて、職業訓練を受講することができます。

◇受講の目標は？

- － 仕事に繋がれるように受講しようと思っていました。溶接で就職することが、目標でした。

◇受講していかがでしたか？

- － 受講前は、普通の学校と同じイメージを持っていました。仕事に繋がれるよう指導してもらえるとところというイメージでした。受講すると、意外と厳しくて、もっとゆっくり勉強できると思っていましたが、定期的に習得状況の確認があったり、就職の面談があって、予定がぎっしり詰まっていた。溶接技術科を受講する前は、溶接はとにかくくっつけるというイメージしか持っていませんでした。実際に溶接をすると、奥が深く、難しいです。材料によって、電流・電圧、トーチの角度が異なり、溶接の姿勢もいろいろあって、奥が深いと思いました。ひとつずつできるようになっていくと、おもしろいと感じるようになりました。ビードがきれいにひけたときは、満足感が得られました。

◇習得したスキルは？

- － 溶接の基礎です。実務をしてみると、訓練で先生が言われていたことが理解できました。受講中は、先生の説明を聞いても“ふ～ん、そうなんだ～”という程度でしたが、今は“こういうことだったんだ”と思えます。

◇現在の仕事で役立っていることは？

- － 訓練で学んだことは、ひととおり全部役立っています。無駄なことはありません。どんなことも、経験は糧になると考えています。

◇就職活動や当センターの就職支援は、いかがでしたか？

- － 応募したい企業の情報が提供されて、安心しました。私の場合、家事・育児との両立から、勤務時間が気になっていましたが、応募前に事業所に確認してもらえたの

で、よかったです。

◇就職決定の決め手は？

- － 指名求人（※）をいただいたときは、圧力容器は精度が要求されるし、高度な技術が必要なので、難しいかもしれないと思いました。

でも、自宅から30分以内で通勤できるのは、家庭や育児との両立からすると魅力だし、難

しいからこそ、ここでしっかりと仕事をすれば、溶接の技術が向上すると思い、応募しました。溶接の腕が上がって、できることが増えればうれしいし、仕事も任せてもらえるので、やりがいがあると考えました。



※希望職種など求職者の情報を事業所に提供し、受講者を指定してご提供いただく求人です。

◇今後の目標は？

- － 今はまだまだ周りの社員の方に教えていただきながら仕事をしているので、周りの社員の方の手を止めなくていいように、自分ひとりで仕事ができるようになりたいです。自分に負けないように頑張りたいです。

◇就職活動中の方や職業訓練を受講されている方にメッセージをお願いします。

- － ものづくりにチャレンジしようかどうしようかと迷っているなら、やってみるべきです。まずはやってみないと、できるかどうか分かりません。考えている時間がもったいないと思います。

* * * * *

有田さんも、黒光さんも、溶接に興味があり、熱心でまじめ。コミュニケーション力もあり、教えやすい。

溶接は一生ものの技術が身に付き、資格も取得できる。

お二人の上司の有安課長に、それぞれの仕事ぶりや採用の決め手、今後の採用についてお話を伺いました。

◇お二人の採用の決め手は？

- 一 有田さんは、身内に鉄工関係の仕事をしている方がいて、溶接に興味があったことと、まじめであることです。黒光さんは、ものづくりに興味があり、熱心で、まじめであることです。



◇お二人の仕事ぶりは？

- 一 有田さんは、溶接の技量が上がっています。入社時はTIG溶接を担当してもらっていましたが、今は半自動溶接を担当してもらっています。半自動溶接の方がTIG溶接より難しいです。今は、有資格者でなくてもできる箇所を溶接しています。これからJIS検定を受検し、ボイラー溶接士の資格も取得してもらう予定です。
黒光さんは、TIG溶接を担当してもらっていて、耐圧部に影響しない箇所を溶接しています。技量はまだまだこれからだし、溶接棒の送りがしっかりとできるようにしている段階です。
二人とも現場とコミュニケーションが取れています。できないこと、わからないことがあれば、周りの社員に聞くので、周りの社員も教えるし、挑戦させています。

◇お二人は、御社が求めていた人材？

- 一 はい。当初思っていた以上に頑張ってくれています。私たちの若いときより頑張っていると思います。何よりまじめで、仕事に対する姿勢も前向きで、できないことをできないままにしない。技量的にはまだまだ一人前ではありませんが、あとは経験と慣れです。
職業訓練を受講したからといって、即戦力になるとは思っていません。学校で学んだことと品物を製作するのでは、扱うものも技量のレベルも全く違うので、「学んだからできるでしょう」と言うのは酷なことです。そのギャップが一番感じているのは、何より本人ですので、今一生懸命頑張っているところです。

◇お二人に期待されていることは？

- 一 有田さんには、ボイラー溶接士の資格を取得してもらいたいと考えています。ボイラー溶接士は手棒で横向き（水平）に引くので、練習しないと資格を取得できません。弊社は資格取得をバックアップしており、技量試験は会社負担で、仕事が終わったあとに練習することも許可しています。練習する・しないは、本人の自主性に任せています。
黒光さんには、TIG溶接をメインで頑張っていたと考えています。半自動溶接になると、弊社の場合、足場に上ったり、20kgにもなる半自動の送給装置を持って移動しなくてはいけないので、体力的な面も考慮しています。



◇当センターに期待することやご要望は？

- － ある程度の基礎知識を身に付けさせてもらいたいです。半自動溶接はデジタル機のパルス制御が一般的になっています。フラックス入りの練習の時間を増やして欲しいです。

二人とも安全の知識が不足しているので、安全教育を徹底していただきたいです。例えば、安全帯の使い方や、コンタクトレンズを使う注意点などです。

弊社は、社内教育や資格取得のバックアップが充実していると自負しています。技量を磨きたいなら、テストピースはいくらでもありますから、練習できます。そのため、Off-JTは必要ないと考えています。

◇当センターの修了生以外で、未経験で入社された方は？

- － 高卒の新卒は、毎年採用しないと高校側も推薦してくれないので、弊社では採用が困難です。中途採用で異なる業種・職種の方が応募されますし、入社もされました。溶接をいくらかでも知っている人は継続して勤務しますが、そうでない人は何年かすると退職しています。

同じ未経験でも、ポリテクセンターで溶接を勉強していると、機械や道具のこと、溶接のことを知っているのので、指導しやすいし、OJTもいちから教えなくていいので、助かります。仕事内容を理解しているのので、思っていたのとは違っていたという理由で、すぐに辞めるということもありません。今後もポリテクセンターから採用したいと考えています。

◇溶接は危険だ、目に悪いと思っている方がおられるのですが。

- － 本人の安全意識の問題です。不安全行動をするから、けがをするのです。何十年も溶接をして、けがをしていない者が実際にいるのですから。



◇採用にあたり、重視されていることは？

- － 本人のやる気です。それと、自発性とコミュニケーション力です。指示を待っているのではなく、自分から自発的に発言する人でないと、技術の習得はできません。周りとのコミュニケーションを取らないと、何ができないのか、わからないのかが、教える側もわからないので、適切に教育指導ができません。

◇政府の女性活躍推進の施策に基づいて、当センターには女性求職者を対象とした「CAD・ものづくりサポート科」があります。女性の就業についておたずねします。御社には女性はどのくらいおられますか？

- － 現場は1名です。TIG溶接を担当しています。黒光さんは、「何でもやりたい」とおっしゃって、時間ができると、周りの者に「何か仕事はありますか？」と自分から聞いて、ペンキ塗りや材料の切断などの軽作業もされます。

◇男性と女性で、能力や意欲などに違いはありますか？

- － 弊社では重量物を扱っているのですが、体力の差があることは否めませんが、意欲に男女の差はありません。

勤務時間などで、その方の状況に応じて配慮は必要かと思います。黒光さんの場合は、保育所にお子さんを預けてから出勤するため、8：00 出勤だと始業時刻ぎりぎりになるということで、8：30 から 17：30 としています。通常は、8：00 から 17：00 です。

◇今後、女性を採用される予定や計画は？

- － どの事業所も人材確保に苦労していると聞いています。弊社も仕事のオファーはありますが、マンパワーが足りず、お断りしている状況です。
意欲と技量があれば、男女問わず採用したいと考えています。

◇ものづくり分野への就職を希望・検討している方にメッセージをお願いします。

- － ものづくりの仕事は、スキルが身に付く仕事で、一生生活していけます。溶接の技術は、違う会社に行っても使えます。国家資格も取得できるし、ボイラー溶接士の資格を取得すると引く手あまたです。

弊社は、TIG 溶接、半自動溶接のいずれも自社でしているので、一生ものの技術が身に付くし、資格も取得できます。

* * * * *

大切なのは、ものづくりをしたいという気持ち。

代表取締役 佐藤 茂典 様 からメッセージをいただきました。

溶接は、“現場仕事で、危険で汚い、残業も多い”というイメージを持っている方がまだまだ多いようですが、最近では違ってきています。溶接も時代とともに技術が進化しています。鉄、ステンレス、アルミ、チタンなど材料もさまざま、異素材の溶接もあるし、レーザーやプラズマなど新しい溶接方法が出てきました。顧客からさまざまな注文をいただきますが、なかにはどうすればできるのかと頭を悩ますものもあります。



社内みんなで試行錯誤し、品物ができると達成感があります。大切なのは、ものづくりをしたいという気持ちです。ものづくりのやりがい、おもしろさ、楽しさをポリテクセンターで学んで欲しい。ポリテクセンターでは、これらを伝えて欲しい。技術は、入社してから身に付けばよい。

株式会社佐藤製作所

所在地：岡山県倉敷市栗坂 467-9

設立：1966年9月1日

資本金：1,000万円

従業員数：24名（男性20名／女性4名）

事業内容：圧力容器設計・製造

各種機器設計・製作

鋼構造物設計・製作

配管工事設計・製作

各種プラント定期修理・保全



（取材後記）

- ◎溶接について熱く、そして丁寧に語られる佐藤社長と有安課長から、若い人にもっともっと溶接の魅力をわかって欲しい、ものづくりの楽しさを味わって欲しい、そして、興味があればここに来て欲しいとの思いが、ひしひしと伝わってきました。
- ◎有安課長のお話から、お二人の熱意が評価され、それぞれの状況に応じて育成されていることを知り、また、お二人の目の輝きから、よいご縁だったのだと安堵いたしました。

<2018年11月>